

## C 言語 II 演習(1-1) ~C 言語 I の復習(1)~

以下の問題に関するプログラムを作成し、ソースプログラムを入力後、ビルド、実行して実行結果を確認しなさい。実行が正しく確認ができたなら、プログラムをレポート用紙に写し、教員あるいは TA の確認を受けて提出しなさい。なお、レポート用紙には問題番号、学籍番号、氏名を必ず書くこと。

C 言語 I の復習ですので、まずは教科書を見ずにどこまでできるかチャレンジしてビルド時のエラーを見ながらデバッグ。それでもわからない場合は教科書などを参考にしましょう。

### 問題 1. (プログラムの進行チェックの練習)

「何かキーを押してください。」と表示したあと、何かキーが押されると、「Hello World!」と表示されるプログラムを作りなさい。何らかのキーを入力を受け付けるには `getchar()` を使います。1 文字の入力を待ち、入力されれば次の命令に移る命令です。

(実行結果例)

何かキーを押してください。  
Hello World!

### 問題 2. (scanf 文の復習)

右に示すように、キーボードから入力した値 (整数、実数) を表示するプログラムを作成しなさい。ただし、実数の表示は小数点以下の桁数に気をつけること。

(実行結果例)

整数を入力してください : 12  
入力された値は 12 です。  
実数を入力してください : 2.34  
入力された値は 2.34 です。

※  はキーボード入力部です。

### 問題 3. (if 文の練習)

まず、変数  $a$  と  $b$  を整数型で宣言し、 $a$  の値を 10 に初期化するプログラムを作成しなさい。引き続き、右のように  $b$  の値をキーボード入力すると、 $a+b$  が 12 になるかどうかを判定した結果として「それは違います。」あるいは「正解です。」と表示するプログラムを作成しなさい。

(実行結果例 1)

$10+b=12$  のとき、 $b$  の値は ? : 5  
それは違います。

(実行結果例 2)

$10+b=12$  のとき、 $b$  の値は ? : 2  
正解です。

※  はキーボード入力部です。

### 問題 4. (if 文の練習)

まず、変数  $a$  と  $b$  を整数型で宣言し、 $a$  の値を 10 に初期化するプログラムを作成しなさい。引き続き、右のように  $b$  の値をキーボード入力すると、 $a+b$  が 3 の倍数になるかどうかを判定した結果として「それは違います。」あるいは「正解です。」と表示するプログラムを作成しなさい。

(実行結果例 1)

$b$  がいくつなら  $10+b$  が 3 の倍数 ? : 1  
それは違います。

(実行結果例 2)

$b$  がいくつなら  $10+b$  が 3 の倍数 ? : 2  
正解です。

※  はキーボード入力部です。

(以上)